

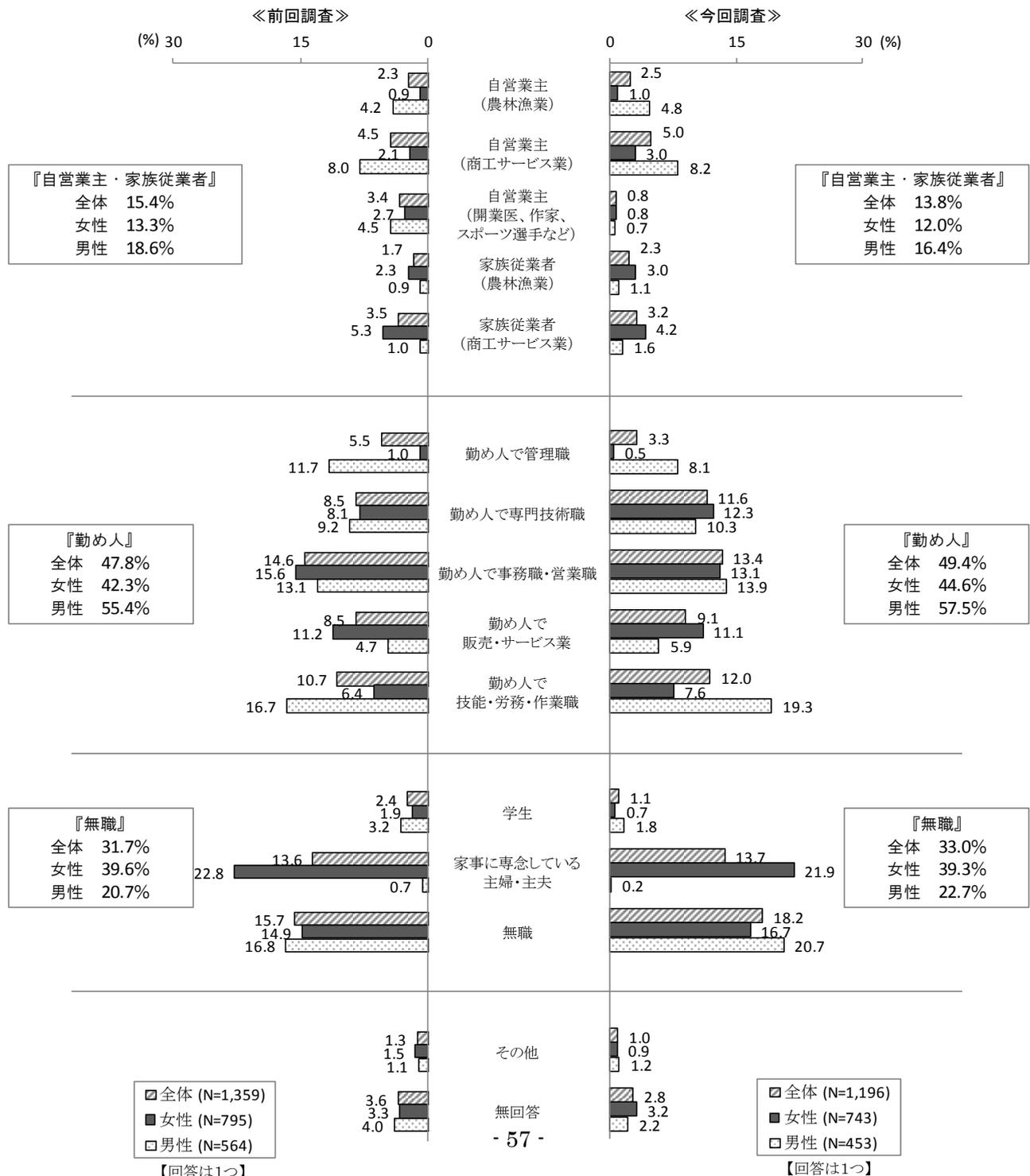
# 第4章 仕事について

## 1. 就業状況について

### (1) 現在の就業状況

問 10. あなたは現在、職業（収入のある仕事）についていますか（育児休業中、介護休業中などの場合も働いている方に含みます）。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 現在の就業状況[全体、性別]（前回調査比較）



現在の職業（収入のある仕事）の有無についてたずねた。

『自営業主・家族従業者』は全体の13.8%で、性別にみると女性12.0%、男性16.4%である。また、『勤め人』は全体の49.4%で、女性は44.6%、男性は57.5%を占める。『無職』は全体の33.0%で、女性39.3%、男性22.7%である。

性別にみると、農林漁業、商工サービス業の『自営業主』の割合は男性に高く、一方、女性はそれらの『家族従業者』の割合が高い。自営業を営む家庭では男性（夫など）が中心となって、女性（妻など）が補助に回る傾向があるといえる。

『勤め人』5職種では、「勤め人で管理職」は圧倒的に男性の割合が高く、女性と7.6ポイントの差があり、女性管理職は少ないことがわかる。「勤め人で事務職・営業職」や「勤め人で専門技術職」では男女の差は小さいものの、「勤め人で販売・サービス業」は女性の方が5.2ポイント、「勤め人で技能・労務・作業職」は男性の方が11.7ポイント高くなっており、雇用の場も男女での偏りは顕著となっている。

職業をもたない場合では、「家事に専念している主婦・主夫」は女性が21.9%を占めているのに対し、男性は0.2%とわずかであった。「無職」は男性が4ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、男女とも『自営業』の割合がやや減少し、『勤め人』の割合がやや増加している。

年齢別にみると、『自営業主・家族従業者』のうち「自営業主（農林漁業）」は男性の60歳代、「自営業主（商工サービス業）」は50歳代と60歳代で1割台と割合が相対的に高く、「家族従業者（農林漁業）」は女性の50歳代以上、「家族従業者（商工サービス業）」は女性の30歳代や50歳代で相対的に高い。自営業では高齢の男女に担われていることが多く、その経営の主導権は男性側にあり、それを女性が補助するという形で営まれている場合が多いことがわかる。

『勤め人』では、「勤め人で管理職」は、男性の40歳代で14.9%、50歳代で17.0%と特に高い。それに対し、女性で管理職についているのは30歳代から50歳代で1%前後とわずかである。

「家事に専念している主婦・主夫」は女性の20歳代では8.7%であるが、30歳代になると21.0%と急増する。しかし、40歳代になると14.8%、50歳代で13.8%とやや減少し、40歳代で「勤め人で販売・サービス業」、50歳代で「勤め人で技能・労務・作業職」の割合が増えている。子どもがある程度大きくなり、販売員や作業職などのパート勤務をする人が多くなることがうかがえる。

表 現在の就業状況[全体、年齢別]

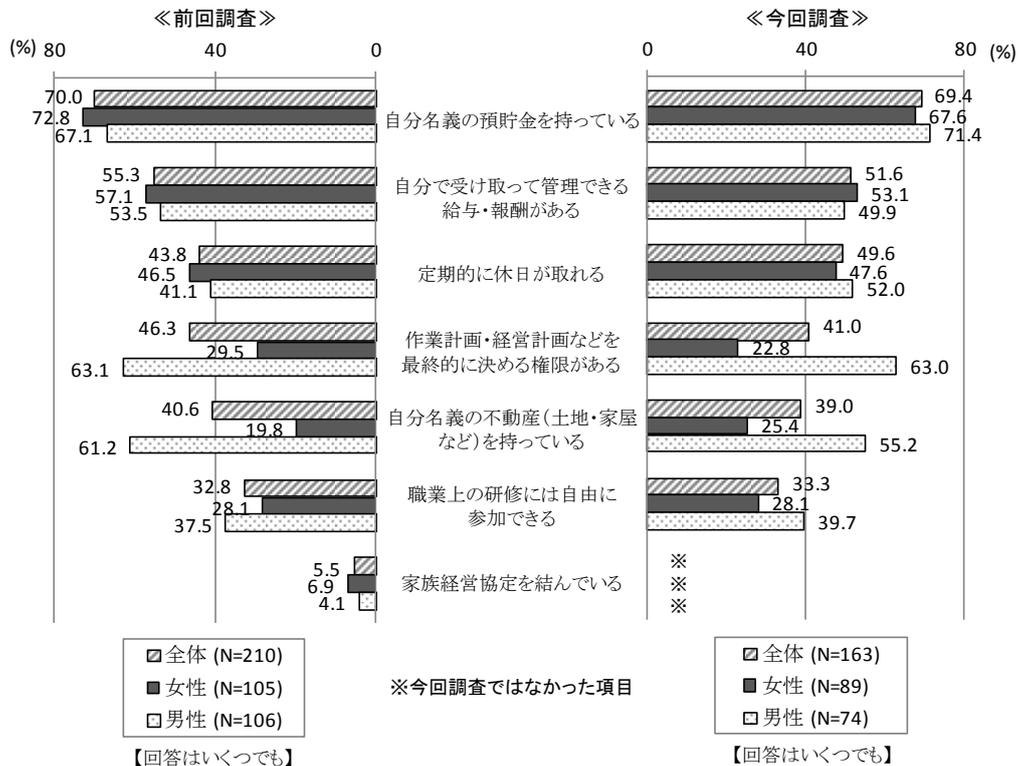
(%)

		合計	自営業主 (農林漁業)	自営業主 (商工サービス業)	自営業主(開業医、作家、 スポーツ選手など)	家族従業者(農林漁業)	家族従業者 (商工サービス業)	勤め人で管理職	勤め人で専門技術職	勤め人で事務職・営業職	勤め人で販売・サービス業	勤め人で技能・労務・ 作業職	学生	家事に専念している主婦・ 主夫	無職	その他	無回答
全体		1,196 100.0	29 2.5	59 5.0	9 0.8	27 2.3	38 3.2	40 3.3	138 11.6	161 13.4	109 9.1	144 12.0	13 1.1	164 13.7	218 18.2	12 1.0	34 2.8
年齢別	女性:20歳代	61	-	-	2.4	0.8	2.4	-	19.8	17.5	22.9	7.2	8.7	8.7	7.1	0.8	1.7
	女性:30歳代	99	-	-	1.0	0.5	5.4	0.5	16.6	27.2	14.2	8.8	-	21.0	2.5	2.4	-
	女性:40歳代	140	-	1.8	1.0	1.0	1.7	1.0	19.3	25.8	19.0	7.2	-	14.8	5.9	0.4	1.0
	女性:50歳代	133	1.8	4.3	1.5	3.6	9.1	1.1	21.4	11.9	9.0	11.3	-	13.8	5.8	-	5.4
	女性:60歳代	184	0.8	3.7	-	4.7	2.6	-	4.2	3.9	7.1	8.1	-	36.1	25.4	-	3.4
	女性:70歳以上	124	3.1	5.9	-	5.4	3.1	-	-	-	2.3	2.7	-	24.3	44.2	2.7	6.2
	男性:20歳代	30	1.6	-	-	-	-	-	8.2	19.4	9.7	33.7	22.6	-	-	4.8	-
	男性:30歳代	54	-	-	-	0.9	2.7	0.9	11.6	35.8	13.4	32.1	-	-	1.8	-	0.9
	男性:40歳代	77	0.6	6.2	-	-	4.4	14.9	16.2	18.6	6.3	24.8	-	-	7.4	0.6	-
	男性:50歳代	93	2.1	12.3	-	1.5	-	17.0	16.5	13.9	5.2	21.1	1.5	0.5	8.3	-	-
	男性:60歳代	125	10.4	13.4	1.2	0.4	1.5	6.9	5.7	6.9	5.0	14.2	-	0.4	29.7	1.5	2.7
男性:70歳以上	71	8.1	4.1	2.7	3.4	0.7	-	4.1	2.7	0.7	3.4	-	-	59.2	2.0	8.8	
無回答		5	-	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-

## (2) 自営業の就労状況

付問1. 【問10で1～3「自営業主」または4、5「家族従業者」と答えた方に】  
あなたの就労状況として、あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

図 自営業の就労状況[全体、性別](前回調査比較)



『自営業・家族従業者』と回答した人に、就労にかかわる状況を6項目にわたってたずねた。全体で見ると、最も高かったのは「自分名義の預貯金を持っている」(69.4%)であり、次いで「自分で受け取って管理できる給与・報酬がある」(51.6%)、「定期的に休日が取れる」(49.6%)、と続いている。

性別にみると、上位3項目についてはあまり男女差はみられないが、「作業計画・経営計画などを最終的に決める権限がある」(女性22.8%、男性63.0%)は男性の方が40.2ポイントと顕著に高く、「自分名義の不動産(土地、家屋など)を持っている」(同25.4%、55.2%)でも29.8ポイント、「職業上の研修には自由に参加できる」(同28.1%、39.7%)でも11.6ポイント男性の方が高くなっている。最終的な決定権は主に男性が持つ傾向が強く、金銭に関しては女性も所有、管理が可能であっても、土地や家屋などの不動産に関しては男性に偏っているようである。

前回調査と比較すると、「自分名義の預貯金を持っている」や「自分で受け取って管理できる給与・報酬がある」などの割合は女性で約4～5ポイント減っている。「自分名義の不動産(土地、家屋など)を持っている」「作業計画・経営計画などを最終的に決める権限がある」に関しては依然として男性が圧倒的に高く、変化がみられない。

年齢別にみると、女性の20歳代と30歳代で「自分で受け取って管理できる給与・報酬がある」が4割台、「自分名義の預貯金を持っている」が5割台と他の年代に比べ相対的に低くなっている。

「定期的に休みが取れる」は女性の30歳代で78.7%、また40歳代では「作業計画・経営計画などを最終的に決める権限がある」が56.5%と女性の他の年代に比べて高くなっている。

表 自営業の就労状況[全体、年齢別]

(%)

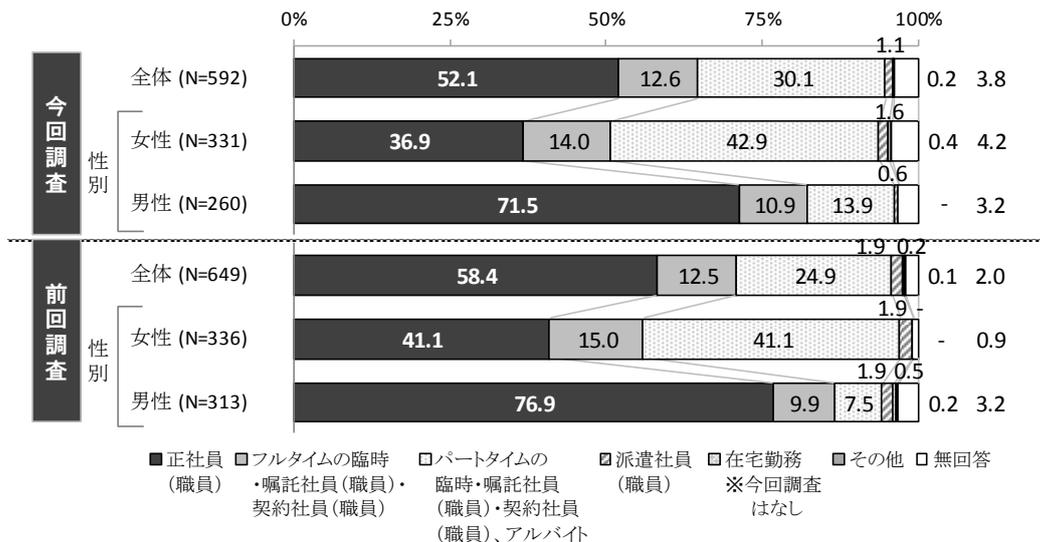
		合計	自分で受け取って管理できる給与・報酬がある	定期的に休みが取れる	職業上の研修には自由に参加できる	作業計画・経営計画など最終的に決める権限がある	自分名義の預貯金を持っている	自分名義の不動産(土地・家屋など)を持っている	無回答
全体		163 100.0	84 51.6	81 49.6	54 33.3	67 41.0	113 69.4	64 39.0	12 7.1
年齢別	女性:20歳代	3	42.7	-	42.7	-	57.3	-	42.7
	女性:30歳代	7	42.6	78.7	14.2	22.1	50.5	-	21.3
	女性:40歳代	8	62.9	43.7	62.7	56.5	62.7	12.9	12.2
	女性:50歳代	27	74.9	51.9	42.8	26.8	76.7	21.4	-
	女性:60歳代	22	55.6	42.1	24.5	28.8	68.9	26.5	11.1
	女性:70歳以上	22	22.5	44.5	4.4	4.4	62.3	46.9	8.8
	男性:20歳代	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	男性:30歳代	2	-	75.0	-	-	100.0	75.0	-
	男性:40歳代	9	61.0	44.5	66.7	77.8	83.4	55.6	-
	男性:50歳代	15	67.6	51.7	32.3	67.8	74.2	51.7	6.5
	男性:60歳代	34	50.0	55.7	40.1	67.0	68.5	54.3	1.4
男性:70歳以上	13	32.1	39.5	35.8	42.9	60.8	57.1	14.3	
無回答	2	50.0	100.0	-	50.0	100.0	50.0	-	

### (3) 雇用形態

#### 付問2. 【問10で6～10「勤め人」と答えた方に】

あなたの雇用形態は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図 雇用形態[全体、性別](前回調査比較)



『勤め人』と答えた人に、雇用形態をたずねた。

全体では「正社員（職員）」が 52.1%で、『非正規雇用』が 44.0%となっている。『非正規雇用』のうち、「パートタイムの臨時・嘱託社員（職員）、アルバイト」が 30.1%、「フルタイムの臨時・嘱託社員（職員）、契約社員（職員）」が 12.6%となっている。

性別にみると、女性では「正社員（職員）」が 36.9%で、『非正規雇用』は 58.9%であるのに対し、男性では「正社員（職員）」が 71.5%、『非正規雇用』が 25.4%で、女性の『非正規雇用』が男性よりも 33.5 ポイント高くなっている。『非正規雇用』のうち女性では「パートタイムの臨時・嘱託社員（職員）、アルバイト」が 42.9%で最も高くなっている。女性はパート・アルバイトという雇用形態で働いている人が多い。

前回調査と比較すると、男女とも「正社員（職員）」が約 4～5 ポイント減少している。女性の『非正規雇用』ではあまり変化はないが、男性では 5.4 ポイント増加しており、男性の非正規雇用化が進んでいる。

年齢別にみると、女性の20歳代では「正社員（職員）」が66.0%と6割を超えているが、30歳代では34.7%と約半数まで低くなっている。かわりに「パートタイムの臨時・嘱託社員（職員）、アルバイト」の割合が増加し、30歳代で43.5%、40歳代で40.5%、50歳代で44.4%と割合は高くなっている。この結果は、出産や育児を機に正社員の職を退職し、子どもが就学してからパートタイムで再就職をする人が多い、いわゆるM字型就労の働き方を反映したものとみられる。ただし、40歳代では「正社員（職員）」も42.9%あり、正規、非正規と二手に分かれているようである。

男性では、30歳代で「正社員（職員）」が96.2%と最も高く、この年代をピークに年齢が上がるにつれ正社員の割合は減り、60歳代以上では「パートタイムの臨時・嘱託社員（職員）、アルバイト」の割合の方が高くなっている。また、20歳代では「正社員（職員）」が68.2%と7割に満たず、「フルタイムの臨時・嘱託社員（職員）、契約社員（職員）」が15.9%、「パートタイムの臨時・嘱託社員（職員）、アルバイト」が15.8%となっている。

表 雇用形態[全体、年齢別]

(%)

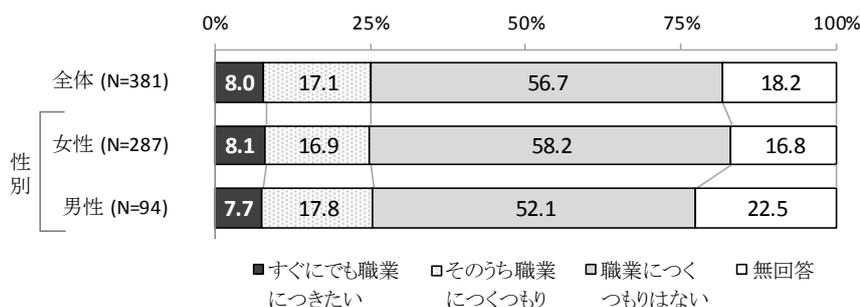
		合計	正社員 (職員)	フルタイム ・臨時社員 (職員)	パートタイム ・契約社員 (職員)	派遣社員 (職員)	その他	無回答
全体		592 100.0	309 52.1	75 12.6	178 30.1	7 1.1	1 0.2	22 3.8
年齢別	女性:20歳代	41	66.0	10.6	23.4	-	-	-
	女性:30歳代	66	34.7	15.2	43.5	1.5	-	5.1
	女性:40歳代	101	42.9	13.8	40.5	1.4	1.4	-
	女性:50歳代	73	32.5	12.6	44.4	2.0	-	8.6
	女性:60歳代	43	12.3	20.3	58.4	3.4	-	5.6
	女性:70歳以上	6	-	-	69.1	-	-	30.9
	男性:20歳代	21	68.2	15.9	15.8	-	-	-
	男性:30歳代	50	96.2	-	3.8	-	-	-
	男性:40歳代	63	86.9	10.0	2.3	-	-	0.8
	男性:50歳代	69	82.6	8.4	6.9	-	-	2.1
男性:60歳代	49	20.8	23.8	42.6	3.0	-	9.9	
男性:70歳以上	8	25.0	18.7	49.9	-	-	6.4	
無回答	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0

#### (4) 働いていない人の状況

##### 付問4. 【問10で12または13と答えた方に】

あなたは今後、職業につきたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 働いていない人の就労希望[全体、性別](前回調査比較)



現在、働いていない人の今後の就労希望について「職業につくつもりはない」が56.7%、「そのうち職業につくつもり」が17.1%、「すぐにでも職業につきたい」が8.0%と希望がある人は25.1%と約4分の1である。

性別にみると、男女とも就労希望は約25%程度と変わらないが、「職業につくつもりはない」は女性の方が6.1ポイント男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、女性の20歳代で「すぐにでも職業につきたい」が40.5%と最も高く、「そのうち職業につくつもり」は30歳代の子育て世代で高い。「職業につくつもりはない」は男女とも年齢が高い層で高くなっている。

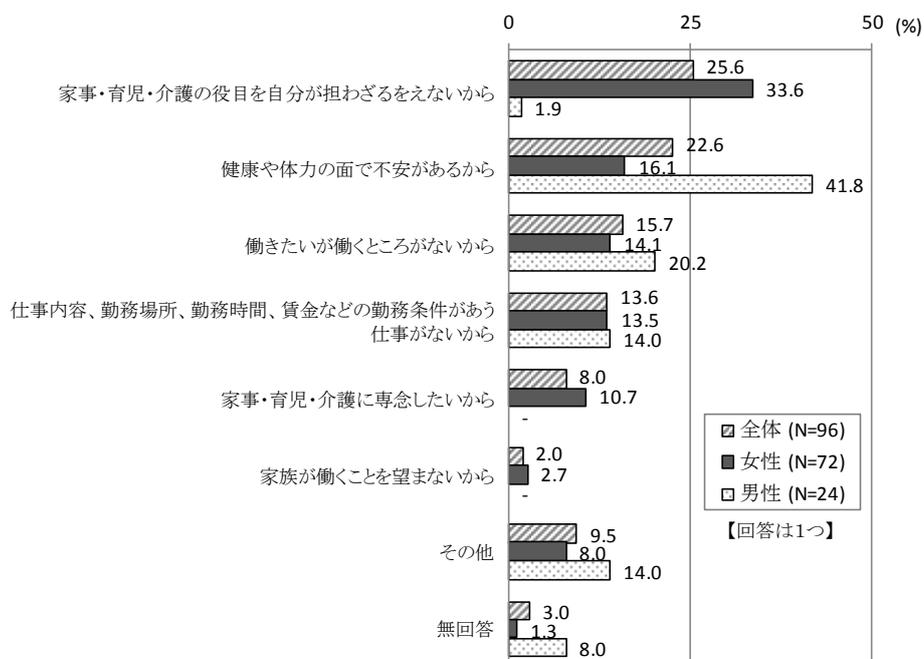
表 働いていない人の就労希望[全体、年齢別]

		合計	すぐにでも職業につきたい	そのうち職業につくつもり	職業につくつもりはない	無回答
全体		381 100.0	30 8.0	65 17.1	216 56.7	69 18.2
年齢別	女性:20歳代	10	40.5	49.6	4.8	5.0
	女性:30歳代	23	10.5	60.4	14.6	14.6
	女性:40歳代	29	20.0	44.8	28.5	6.7
	女性:50歳代	26	22.1	12.9	51.9	13.0
	女性:60歳代	113	4.3	11.9	68.0	15.7
	女性:70歳以上	85	0.5	-	74.5	24.9
	男性:20歳代	-	-	-	-	-
	男性:30歳代	1	-	100.0	-	-
	男性:40歳代	6	33.5	66.5	-	-
	男性:50歳代	8	23.5	17.4	35.5	23.5
	男性:60歳代	38	7.7	20.5	53.9	17.9
男性:70歳以上	42	1.2	6.9	62.0	29.9	
無回答	1	-	-	100.0	-	

## 付問4-1. [付問4で 1または2 と答えた方に]

現在、職業についていない理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 働いていない理由[全体、性別]



現在、職業についていない理由は「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」が25.6%、「健康や体力の面で不安があるから」が22.6%、「働きたいが働くところがないから」が15.7%、「仕事内容、勤務場所、勤務時間、賃金などの勤務条件がある仕事がないから」が13.6%となっている。

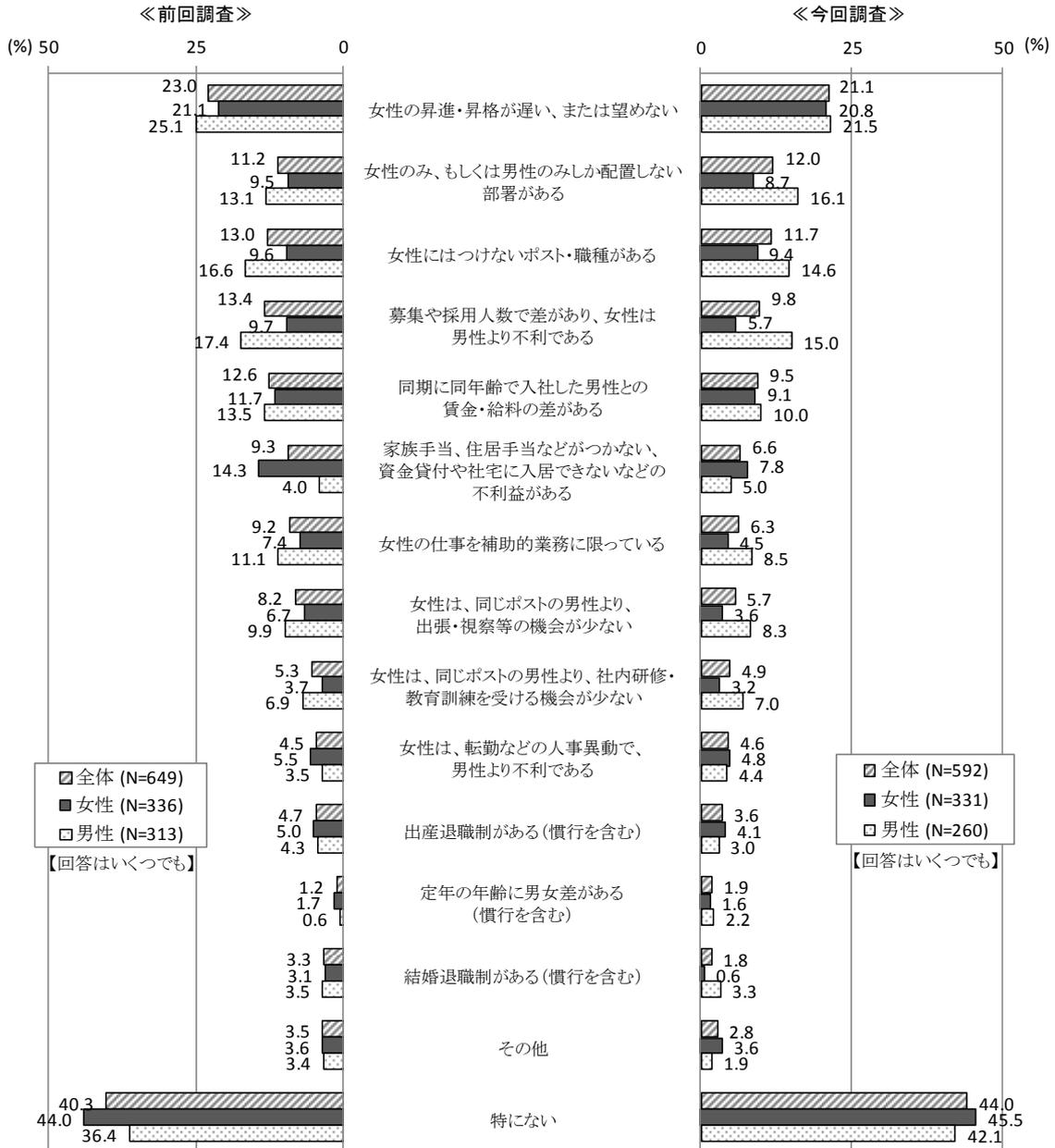
性別にみると、女性は「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」が33.6%と最も高く、男性は「健康や体力の面で不安があるから」が41.8%で最も高くなっている。また、「家事・育児・介護に専念したいから」は女性のみで、女性の場合は家事や育児などの担い手であることが、働いていないことの主な理由となっている。

(5) 職場における女性の就業環境

付問3. 【問10で6~10「勤め人」と答えた方に】

次にあげることがらの中で、現在のあなたの職場の女性にあてはまることがありますか。あてはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

図 職場における女性の就業環境[全体、性別](前回調査比較)



『勤め人』と答えた人に、現在の職場における女性の就業環境をたずねた。

「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」が21.1%と最も高く、次いで「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」が12.0%、「女性にはつけないポスト・職種がある」が11.7%と続いている。

性別にみると、男性の方が割合は高い項目が多く、「募集や採用人数で差があり、女性は男性より不利である」(15.0%)で9.3ポイント、「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」(16.1%)で7.4ポイント、「女性にはつけないポスト・職種がある」(14.6%)で5.2ポイント女性より高かった。男性は募集・採用、ポスト・職種など、能力を発揮する場が女性へは公平に提供されていないと認識しているようだ。

前回調査と比較すると、ほとんどの項目で男女とも割合が減少し、「特にない」が男性で5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、女性の20歳代と30歳代で「出産退職制がある(慣行を含む)」が1割前後と他の年代よりも高く、こうした慣行に直面する当事者として問題意識をもっていると考えられる。このような慣行は、近年「マタニティハラスメント」として問題になっており、男女雇用機会均等法違反であり看過できない数値であり、事業主に対する啓発が必要である。男性の40歳代では「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」(31.6%)が高くなっている。実際にポストにつく男女の数の差が顕著にみられる世代の当事者として問題意識があることがうかがえる。

職業別にみると、管理職で他の職業の人よりもほとんどの項目で割合が高く、管理する立場では、働く場が女性に不利な環境であることがよく見えているといえる。

このような女性に不利な慣行のある就業環境が現存することが、第1章の分野別にみた男女の地位の平等感で「職場」における「平等」が2割に満たない要因となっているといえよう。

表 職場における女性の就業環境[全体、年齢別、職業別]

		合計	募集や採用人数で差があり、女性は男性より不利である	女性の昇進・昇格が遅い、または望めない	同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある	女性の仕事を補助的業務に限っている	女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある	女性にはつけないポスト・職種がある	女性内研修・同じポストの男性より、教育訓練を受けられる機会が少ない	出張・視察等の機会が少ない	女性は、同じポストの男性より、男性より不利である	女性は、同じポストの男性より、男性より不利である	定年の年齢に男女差がある(慣行を含む)	結婚退職制がある(慣行を含む)	出産退職制がある(慣行を含む)	家族手当、住居手当などがつかない、資金貸付や社宅に入居できないなどの不利益がある	その他	特にない	無回答
全体		592 100.0	58 9.8	125 21.1	56 9.5	37 6.3	71 12.0	69 11.7	29 4.9	34 5.7	27 4.6	11 1.9	11 1.8	21 3.6	39 6.6	17 2.8	260 44.0	66 11.1	
年齢別	女性:20歳代	41	4.7	20.1	7.1	4.7	14.2	20.1	3.5	7.1	3.5	-	4.7	9.4	7.1	8.2	52.9	4.7	
	女性:30歳代	66	6.5	37.0	6.5	7.3	13.7	10.1	2.9	5.0	7.3	2.2	-	11.6	8.7	5.0	36.3	3.6	
	女性:40歳代	101	2.3	20.4	12.8	4.3	9.4	9.5	1.9	2.8	7.6	-	-	-	5.2	-	52.9	11.4	
	女性:50歳代	73	9.9	16.6	8.6	3.3	3.3	6.7	3.3	3.3	2.6	3.3	-	2.6	7.3	4.6	39.7	17.2	
	女性:60歳代	43	6.8	7.9	9.0	3.4	4.5	4.5	6.7	1.2	-	-	3.4	-	15.7	4.4	52.8	13.5	
	女性:70歳以上	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	男性:20歳代	21	31.9	11.3	2.3	9.1	27.4	15.9	6.8	13.7	2.3	-	6.8	6.8	13.7	6.8	15.9	2.2	
	男性:30歳代	50	17.1	22.9	12.4	8.6	12.5	20.1	3.8	10.5	2.9	-	5.7	6.7	9.5	1.0	42.8	4.8	
	男性:40歳代	63	10.8	31.6	13.0	8.5	19.3	17.0	16.2	13.1	7.7	4.6	6.2	2.3	1.5	-	44.6	10.0	
	男性:50歳代	69	15.4	16.8	14.0	9.1	15.4	15.4	5.6	5.6	2.8	1.4	0.7	0.7	2.1	3.5	42.6	5.6	
男性:60歳代	49	10.9	18.9	2.0	7.9	14.9	6.9	1.0	2.0	5.9	3.9	-	1.0	5.0	-	46.5	19.7		
男性:70歳以上	8	12.8	6.4	6.4	-	-	-	6.4	6.4	-	-	-	6.4	6.4	6.2	62.3	18.7		
無回答	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
(勤め業人別)	勤め人で管理職	40	9.6	19.3	22.8	10.8	19.2	18.1	15.7	12.0	4.8	-	3.6	1.2	2.4	2.5	48.3	8.4	
	勤め人で専門技術職	138	5.9	16.8	3.1	0.7	4.2	4.9	2.8	2.1	2.4	1.7	1.4	4.5	7.0	1.4	52.6	10.5	
	勤め人で事務職・営業職	161	10.1	26.3	13.2	6.3	13.7	11.6	3.9	8.4	6.3	1.8	2.7	4.2	7.8	4.2	41.0	8.1	
	勤め人で販売・サービス業	109	8.9	15.1	8.9	4.9	5.3	9.3	2.7	4.4	4.0	2.7	0.9	3.5	6.6	4.0	55.3	12.0	
	勤め人で技能・労務・作業職	144	13.7	24.5	8.4	11.4	20.4	18.4	6.7	5.4	5.4	2.0	1.3	2.7	6.0	2.0	29.4	15.0	

